情報文化学生瓦版

2016 年 10 月 5 日
第 110 号

発行　情報文化学科

社主	玉田 こだま
編集長	寺田 かがやき
顧問	松村 つばめ
	神部 さくら
	八木 とき
	山口 のぞみ
	鈴木 はやぶさ
学生	小泉 みずほ
	角田 ひかり
	伯耆田 はくたか
	戸邉 あさま
	明石 なすの
	上田 たにがわ

鉄道・運輸機構 理事長 北村先生が語る！
～鉄道とグローバル化～

平成28年9月28日、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（鉄道・運輸機構）理事長の北村隆志先生が情報文化学科の特別講義のために来校して下さった。北村先生による特別講義は今年で4回目を数え、今回は日本の鉄道についてお話しして下さった。鉄道・運輸機構は、国の行政の一部を実施する機関であり、国と一体となって動いている。

まず日本の鉄道の歴史についてお話しして下さった。日本の鉄道の始まりは江戸時代末期にまで遡る。ペリーが来航した際に幕府に献上した物の中に小さな蒸気機関車があったことが日本の鉄道の始まりだという。ペリー来航が日本の開国だけでなく、鉄道にも関わっていたことには驚きである。

次にインドやインドネシアでは鉄道の利用が少ないとおっしゃった。ほとんどの国民が自動車やバイクを運転していることが理由にあげられる。しかし、大気汚染対策のために規制がかけられている。そこでインドでは日本の新幹線を作る計画がある。シンガポールやタイなどの東南アジア諸国にも作る動きがある。日本の新幹線は外国に進出し始めているということだ。鉄道の世界でもグローバル化が進んでいると言える。

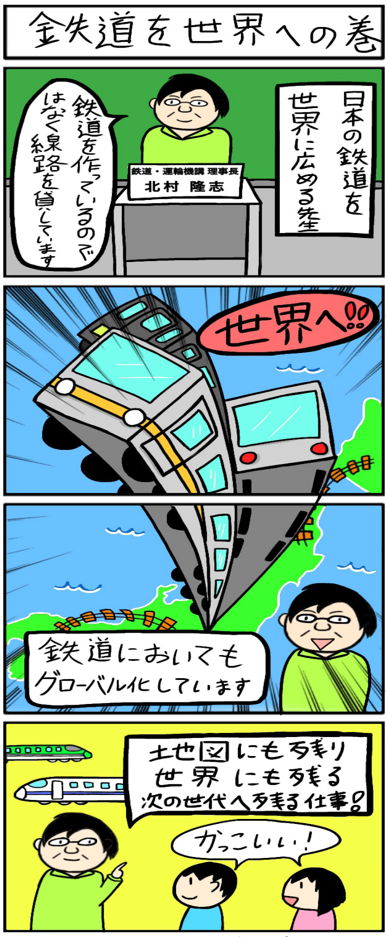
続いて、日本国内に関することで、北海道・九州・四国について話された。北海道の人口の約半分は札幌の周辺に住んでいる。そのため、遠方から札幌まで鉄道で行き来する人が少なく経営は厳しい。九州ではJR九州が10月25日に新規上場する。九州の人口は北海道の倍近いが、面積は約半分である。JR九州は、鉄道以外の駅ビルや不動産の事業を手掛け、経営を黒字化させた。北村先生は四国が一番大変な状況にあるとおっしゃった。まず中心地がないため、中心地を岡山県にすることから始めた。四国だけで営業をするJR四国の経営は厳しいとのことだ。北海道・九州・四国だけでなく、日本全体で平らな土地が少なかったり、河川による水害被害に見舞われたり、現在の鉄道網ができるまでには時間が掛かった。しかし社会の変化に合わせた事業に取り組んでいくことで、日本全国に鉄道が敷かれ、私達が便利に利用することが出来るのである。

そして北村先生は私達学生にとって大切なことを教えて下さった。大学では環境が一緒の人が多いため「協調性を学ぶこと」が出来る。自分のことだけを考えていては物事が進まないが、「相手の気持ちを考えること」で上手くいく。学歴があっても学問がなければ意味が無いので「良く勉強をすること」が重要である。また、これから先の人生を「健康に」過ごすことが大切である。がんばりすぎて健康を損なってしまっては意味が無い。そして最後に、「強い者、賢い者が生き残るのではない」という事をおっしゃっていた。情報文化学科で学ぶことで、グローバルな力を身につける持つことが出来ることを再認識した。より一層、大学での学習に意欲が湧いた。

今回の講義では、鉄道と輸送を通して日本と世界の繋がりや状況について、もっと視野を広げて、グローバルな力を持たなくてはならないのだと強く考えさせられた。北村先生から教えて頂いたことを意識し、これからの大学生活を送っていき、良き社会人となり世の中のために貢献できるようになりたいと思う。

（戸邉 あさま）

北村先生による特別講義の様子



作：伯耆田 はくたか

駒木祭

11 月 2 日、3 日

情報文化学科で一緒に盛り上がろう！！

講義　北村先生による特別講義

9 月 28 日（水）に鉄道・運輸機構、理事長の北村先生による特別講義が行われた。事業の説明や鉄道の歴史についてお話をして下さった。２面

英語でひとこと

【It is not the strongest species that survive, nor the most intelligent, but the ones most responsive to change.】

これは、イギリスの自然科学者、地質学者・生物学者であるチャールズ・ダーウィン（1809-1882）の言葉である。意味は、『生き残るのは、最も強い種でも最も賢い種でもない。環境の変化に最も敏感に対応できる種である。』だ。講義をしてくださった北村先生が大切にしている言葉でもある。限られた分野でも色々な変遷があり、鉄道も時代に合わせて鉄道の作り方を変化させたから生き残ったのであるとおっしゃった。社会に出てからは年代も環境も違う人たちと働き、協調性をもって励んでいく必要がある。その時、変化に対応できるようになりたいと願う。

（小泉 みずほ）

鉄声学語（てっせいがくご）

就職とは自分の一生を決めるとても大きな一歩だ。その一歩を確実なものとするために私たちは学びを続けている▼北村先生に、仕事をしていく上で大切にするべきことを教えて頂いた。社会に出ると学生時代とは異なり、様々な環境を経験してきた違う年代の人と一緒に仕事をする。そのためには、協調性が必要だ。仕事で初対面の人と話をする機会も当然出てくる。ゆえに知識も豊富でなければならない。学歴ではなく学問が求められるのだ▼北村先生のお話は情報文化学科で学んできたことにあてはまる。改めて大学での学びの重要さを認識した。生きてきて良かったと思う人生を送るためにも、これからも学び続けていきたい。自分の一生をより良いものとするために、これからの一歩を踏み外さないで歩き続けていきたい。

（角田 ひかり）

10 月 14 日は鉄道の日

10 月 8 日、9 日は AM10:00 から

日比谷公園で鉄道フェスティバル!!

明日を担う交通ネットワークの構築！！

鉄道業・船舶業の中心を担う！

独立行政法人　鉄道・運輸機構